奈良工業高等専門学校	グローバル工学協働教育プログラム(GECEP)（アドバンストコース）	開講年度	令和04年度 (2022年度)

学科到達目標

科目区分		授業科目	科目番号	単位種別	単位数	学年別週当授業時数								担当教員	履修上の区分
						専1年				専2年					
						前		後		前		後			
						1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q		
一般	選択	アドバンスト・グローバルコミュニケーション	0004	学修単位	2	2								朴 槿英	
一般	選択	海外インターンシップ	0005	履修単位	2	集中講義								上島 智史,朴 槿英	
一般	選択	アドバンスト・グローバルエンジニアスキル	0006	学修単位	2			2						Leigh McDowell	
一般	選択	アドバンスト・グローバルチャレンジ	0007	学修単位	2	集中講義								朴 槿英	
一般	選択	アドバンスト・グローバルコミュニケーション	0008	学修単位	2					2				朴 槿英	
一般	選択	海外インターンシップ	0009	履修単位	2					集中講義				上島 智史,朴 槿英	
一般	選択	アドバンスト・グローバルエンジニアスキル	0010	学修単位	2							2		Leigh McDowell	

奈良工業高等専門学校	開講年度	令和04年度 (2022年度)	授業科目	アドバンスト・グローバルコミュニケーション

科目基礎情報

科目番号	0004	科目区分	一般 / 選択
授業形態	講義	単位の種別と単位数	学修単位: 2
開設学科	グローバル工学協働教育プログラム (GECEP)（アドバンストコース）	対象学年	専1
開設期	前期	週時間数	2
教科書/教材	「Broadcast: ABC WORLD NEWS TONIGHT 3 映像で学ぶ ABCワールドニュース3」、KINSEIDO、山根繁 他 著		
担当教員	朴 槿英		

到達目標

グローバル社会で通用できる英語コミュニケーション能力を養うため、アメリカのニュースを視聴しながらその背景と内容を理解しつつ、正しく聞き取ることを目指す。また、各ニュースに関連する Weekly assignment の答案を作成し、ディスカッショントピックについて考えを簡潔に表現できるスキルを身につけることを目標とする。

ルーブリック

	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安
ディクテーション・スキル	生英語ニュースを聞き、英文を正しく書き取ることができる。	英語ニュースを聞き、英文をある程度書き取ることができる。	英語ニュースを聞き、英文を書き取ることができない。
リーディング・スキル	実用的なニュース本文を読み、正しく理解できる。	実用的なニュース本文を読み、概ね理解できる。	実用的なニュース本文を読み、理解することができない。
ディスカッション・スキル	ディスカッショントピックについて、考えを正確かつ簡潔に表現できる。	ディスカッショントピックについて、考えを概ね表現できる。	ディスカッショントピックについて、考えを表現することができない。

学科の到達目標項目との関係

教育方法等

概要	本講義は、アメリカの生英語ニュースを聞き取り、その内容が深く理解できるための、リスニング、リーディング、ディスカッション能力を同時に養うことを目的とする。各講義で学ぶ様々なニュース内容について、アサインメントを提出することが必須となる。また、英語でのディスカッショントピックについて簡潔に英作文することで、より実践的なコミュニケーション能力の育成を目指す。 なお、本科目は「グローバル工学協働教育プログラム」の一科目として実施する。
授業の進め方・方法	海外ニュースを視聴し、関連内容についてディクテーション・リーディング・ライティング練習を行う。また、ニュース本文のオーバーラップ練習を通してスピーキング・プラクティスそして、ディスカッショントピックについて英作文する。
注意点	生英語を聞き取るために必要な英語コミュニケーションズ能力および関連ニュースに関する基礎知識を身に備えるため、積極的な自学自習が必要である。 学習指針：グローバル社会の様々な話題に対する幅広い知識と柔軟な理解力が求められる。 関連科目：アドバンスト・グローバルチャレンジ、アドバンストグローバルエンジニアスキル、海外インターンシップ 自己学習（事前学習および事後展開学習） 事前学習：英語ネイティブ国の生ニュースを中心に反復的なリスニングプラクティスを行うこと。授業中に用いられるニュースを理解するために必要な情報も事前に調べること。 事後展開学習：授業で学んだ内容を適確に理解し、グローバル社会において様々な意見を英語で表現できるようにすること。

学修単位の履修上の注意

本科目の到達目標に向けて、グローバルな社会の話題を理解するとともに、関連する問題に英語で解答することが求められます。テキストで用いる英語ニュースが聞き取れるまで十分なリスニングとディクテーション訓練を行うことが必須です。

授業の属性・履修上の区分

□ アクティブラーニング	☑ ICT 利用	□ 遠隔授業対応	□ 実務経験のある教員による授業

授業計画

		週	授業内容	週ごとの到達目標
前期	1stQ	1週	News Story 1. New Company コロナ禍の中、ペットに癒やされる	News Story 1「New Company」を聞き取り、その内容が理解できる。
		2週	News Story 2.E-Cigarette: Partial Ban Backlash 若者に広がる電子シガレット使用	News Story 2「E-Cigarette: Partial Ban Backlash」をを聞き取り、その内容が理解できる。
		3週	News Story 3.The Veteran and His Homemade Toys 退役軍人の手作りのおもちゃ	News Story 3「The Veteran and His Homemade Toys」を聞き取り、その内容が理解できる。
		4週	News Story 4. To the Moon NASAを支えた女性数学者	News Story 4「To the Moon」を聞き取り、その内容が理解できる。
		5週	News Story 5.Flooding in Venice ベネチア水没の危機	News Story 5「Flooding in Venice」を聞き取り、その内容が理解できる。
		6週	News Story 6.Security from Above 大晦日のタイムズスクエアを警備する	News Story 6「Security from Above」を聞き取り、その内容が理解できる。
		7週	News Story 7.No Limits Café 特別支援が必要な人を雇用する	News Story 7「No Limits Café」を聞き取り、その内容が理解できる。
		8週	News Story 8.Paralyzed Man Walks Again 幹細胞治療で奇跡の快復	News Story 8「Paralyzed Man Walks Again」を聞き取り、その内容が理解できる。
	2ndQ	9週	News Story 9. Ending the War? アメリカ最長の戦争が終わるか？	News Story 9「Ending the War?」を聞き取り、その内容が理解できる。
		10週	News Story 10. Amazon on the Brink アマゾンの熱帯雨林を守る先住民族	News Story 10「Amazon on the Brink」を聞き取り、その内容が理解できる。
		11週	News Story 11. Emergency Business Aid 苦闘する中小企業の経営者	News Story 11「Emergency Business Aid」を聞き取り、その内容が理解できる。

		12週	News Story 12. Classic American Cowboy Hat カウボーイハットはメイド・イン・アメリカ	News Story １２「Classic American Cowboy Hat」を聞き取り、その内容が理解できる。
		13週	News Story 13. Anger Across America 人種差別に対する抗議デモが全米で広がる	News Story １３「Anger Across America」を聞き取り、その内容が理解できる。
		14週	News Story 14. Volunteers Feeding Those in Need 困っている人を助けるボランティアの輪	News Story １４「Volunteers Feeding Those in Need」を聞き取り、その内容が理解できる。
		15週	期末テスト	期末テストの問題に解答できる。
		16週		

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週

評価割合

	期末テスト	Weekly Assignment	合計
総合評価割合	50	50	100
基礎的能力	50	50	100

奈良工業高等専門学校	開講年度	令和04年度 (2022年度)	授業科目	海外インターンシップ

科目基礎情報

科目番号	0005	科目区分	一般 / 選択
授業形態	実習	単位の種別と単位数	履修単位: 2
開設学科	グローバル工学協働教育プログラム(GECEP)（アドバンストコース）	対象学年	専1
開設期	集中	週時間数	
教科書/教材	なし/本校で実施している，国際交流等の報告会発表が参考となる。		
担当教員	上島 智史,朴 槿英		

到達目標

・技術者としての心構えや社会人として何が必要かを学ぶこと。
・グローバル時代に生きる社会人として、異文化理解を通して自主性、創造性及び柔軟性の大切さを学ぶこと。
・グローバル技術者の基本的な素養として何が必要かを学ぶこと。

ルーブリック

	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安
評価項目1 技術者としての心構えと社会性	技術者としての心構えや社会人として何が必要かを説明できる。	技術者としての心構えや社会人として何が必要かを自覚している。	技術者としての心構えや社会人として何が必要かを自覚していな。
評価項目2 異文化理解力	異文化理解を通して自主性、創造性、柔軟性の大切さを説明できる。	異文化理解を通して自主性、創造性、柔軟性の大切さを自覚している。	異文化理解を通して自主性、創造性、柔軟性の大切さを自覚していない。

学科の到達目標項目との関係

教育方法等

概要	海外の企業・大学その他の公的機関等において実習ないしは研究体験をすることにより、グローバル技術者としてのキャリア体験を積むとともに、異文化理解力を深める。
授業の進め方・方法	海外インターンシップのテーマと内容については、本校グローバル教育センターと実習先機関が協議して定める。ただし、実習先機関においてあらかじめ用意されたテーマ及び内容を実務体験することもある。
注意点	修了証書と実習に参加した学生が作成する海外インターンシップ報告書の提出、さらに校内で実施する帰国報告会での発表をもって履修条件とする。実習中は安全に留意するとともに、保険への加入を義務付ける。 関連科目・学習指針・自己学習 実習中の体験を日誌に記録し、報告者作成時の資料とする。実習先の技術者、指導教員、バディ学生との積極的な交流を通して、グローバル感覚とともに、技術者として必要な英語コミュニケーション力を養うこと。

学修単位の履修上の注意

授業の属性・履修上の区分

☑ アクティブラーニング	☑ ICT 利用	□ 遠隔授業対応	□ 実務経験のある教員による授業

授業計画

		週	授業内容	週ごとの到達目標
前期	1stQ	1週	1．実施期間 10日間以上にわたり、合計80時間以上従事 2．学外実習先 本校が認めた海外企業の生産研究部門等及び大学その他公的教育機関 3．スケジュール （1）海外インターンシップ・ガイダンス ・概要説明 ・海外受入機関の紹介と実習内容の説明 ・安全教育 ・研修テーマのマッチング （2）事前研修 ・海外インターンシップの心構えと異文化理解に関する事前学習 ・国際交流報告会への出席 （3）実習 ・実習先でのオリエンテーション ・実習 ・文化交流 ・日誌の作成 （4）海外インターンシップのまとめ ・報告書の作成、帰国報告会でのプレゼンテーション 〔参考〕 これまでの主な実習先 ナンヤン・ポリテクニク（シンガポール）、香港IVE（香港）、国立勤益科技大学（台湾）等	・技術者としての心構えや社会人として何が必要かを学ぶこと。 ・グローバル時代に生きる社会人として、異文化理解を通して自主性、創造性及び柔軟性の大切さを学ぶこと。 ・グローバル技術者の基本的な素養として何が必要かを学ぶこと。
		2週		
		3週		
		4週		
		5週		
		6週		
		7週		
		8週		
	2ndQ	9週		
		10週		
		11週		
		12週		
		13週		

		14週		
		15週		
		16週		
後期	3rdQ	1週		
		2週		
		3週		
		4週		
		5週		
		6週		
		7週		
		8週		
	4thQ	9週		
		10週		
		11週		
		12週		
		13週		
		14週		
		15週		
		16週		

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週

評価割合

	報告書	実習報告	合計
総合評価割合	80	20	100
基礎的能力	80	20	100

奈良工業高等専門学校	開講年度	令和04年度 (2022年度)	授業科目	アドバンスト・グローバルエンジニアスキル

科目基礎情報

科目番号	0006	科目区分	一般 / 選択
授業形態	講義	単位の種別と単位数	学修単位: 2
開設学科	グローバル工学協働教育プログラム (GECEP) (アドバンストコース)	対象学年	専1
開設期	後期	週時間数	2
教科書/教材	Alex Raynham (著) Future Energy		
担当教員	Leigh McDowell		

到達目標

This subject aims to develop specialised English skills for globally active engineers (i.e., reading, writing, and presenting research).

ルーブリック

	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安
評価項目1	Demonstrated advanced writing skills	Demonstrated intermediate writing skills	Demonstrated lack of basic writing skills
評価項目2	Demonstrated advanced presentation skills	Demonstrated intermediate presentation skills	Demonstrated lack of basic presentation skills
評価項目3	Demonstrated exceptional participation	Demonstrated good participation	Demonstrated low participation

学科の到達目標項目との関係

教育方法等

概要	In order to develop practical English speaking and listening skills, this subject is taught all in English, and students are expected to use English as much as possible
授業の進め方・方法	This subject is taught all in English, and students are expected to use English. Students practice and learn English discussion skills based around the topic of future energy. The subject includes learning through the lecture and practice to acquire presentation skills. Active participation is required.
注意点	

学修単位の履修上の注意

授業の属性・履修上の区分

□ アクティブラーニング	□ ICT 利用	☑ 遠隔授業対応	□ 実務経験のある教員による授業

授業計画

		週	授業内容	週ごとの到達目標
後期	3rdQ	1週	Lesson1: Energy today	Understand the contents of Lesson 1 and discuss them in English.
		2週	Lesson2: Fossil fuels	Understand the contents of Lesson 2 and discuss them in English.
		3週	Lesson3: Energy and our planet	Understand the contents of Lesson 3 and discuss them in English.
		4週	Lesson4: Saving energy	Understand the contents of Lesson 4 and discuss them in English.
		5週	Lesson5: The power of the atom	Understand the contents of Lesson 5 and discuss them in English.
		6週	Lesson6: Super fuels	Understand the contents of Lesson 6 and discuss them in English.
		7週	Lesson7: A bright future	Understand the contents of Lesson 7 and discuss them in English.
		8週	Lesson8: When the wind blows	Understand the contents of Lesson 8 and discuss them in English.
	4thQ	9週	Lesson9: Water world	Understand the contents of Lesson 9 and discuss them in English.
		10週	Lesson10: Heat all around us	Understand the contents of Lesson 10 and discuss them in English.
		11週	Lesson11: People power	Understand the contents of Lesson 11 and discuss them in English.
		12週	Lesson12: Nano power	Understand the contents of Lesson 12 and discuss them in English.
		13週	Lesson13: Energy in space	Understand the contents of Lesson 13 and discuss them in English.
		14週	Lesson14: Going local	Understand the contents of Lesson 14 and discuss them in English.
		15週	Lesson15: Where next?	Understand the contents of Lesson 15 and discuss them in English.
		16週		

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週

評価割合

	Presentation	Class Participation (Assignment)	合計

総合評価割合	20	80	100
基礎的能力	20	80	100

奈良工業高等専門学校	開講年度	令和04年度 (2022年度)	授業科目	アドバンスト・グローバルチャレンジ

科目基礎情報

科目番号	0007	科目区分	一般 / 選択
授業形態	講義	単位の種別と単位数	学修単位: 2
開設学科	グローバル工学協働教育プログラム (GECEP)（アドバンストコース）	対象学年	専1
開設期	集中	週時間数	
教科書/教材	「ネイティブが教える　日本人研究者のための論文の書き方・アクセプト術」、 講談社、エイドリアン・ ウォールワーク 著		
担当教員	朴 槿英		

到達目標

英語による国際学会での発表を目標とし、この目標を達成するために必要とされる高度な英語運用能力の獲得を目指すとともに、他者と協働し積極的にディベートを行いながら発表に向けた準備活動を進めることで、英語によるプレゼンテーションの全体的なパフォーマンス向上を目指す。

ルーブリック

	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安
英語運用能力	国際学会での発表に不可欠な高度な英語運用能力を身につけている。	国際学会での発表を行いうるある程度の英語運用能力を身につけている。	国際学会での発表に必要な最低限の英語運用能力が身についていない。
グローバル・コミュニケーション力	英語を使って他者と積極的にディベートを行いながら、協働して作業を行うことができる。	他者と協働して作業を行うために必要なある程度の英語コミュニケーション力が身についている。	他者と協働して作業を行うために必要な英語コミュニケーション力が十分に身についていない。

学科の到達目標項目との関係

教育方法等

概要	国際学会における英語プレゼンテーションおよび英論文投稿を行うための準備と、書き方基本的なルールおよび洗練された表現の仕方について学習する。また、ディスカッション練習を通じて、プレゼンテーション後のQ＆Aセッションに対するパフォーマンス向上を目指す。
授業の進め方・方法	国際学会等での発表に必要な英語運用能力を向上させるための活動として、英語によるプレゼンテーションとディスカッションを行うプロジェクト型学習と科学技術分野を扱う英文テキストの読解、および英文アブストラクトの作成を行う。 なお、本科目は、「グローバル工学協働教育プログラム」の科目と一部として実施する。
注意点	国際学会・フォーラム・セミナーなどの国際的なイベントにおける実践活動（英語での口頭あるいはポスター発表をすることが望ましい。）および単位を履修するための十分な英語運用能力が求められる。 国際学会などにおける実践活動のために必要な英語コミュニケーションズ能力を身に備えるため、積極的な英語学習が必要となる。 学習指針：国際学会等で通用する実践的な英語コミュニケーション能力が求められる。 関連科目：アドバンスト・グローバルコミュニケーション、アドバンストグローバルエンジニアスキル、海外インターンシップ 自己学習（事前学習および事後展開学習） 事前学習：国際学会の動画を中心に事前リスニングプラクティスを行うこと。学会で用いられるキーワードに基づいて積極的に学習に取り組むこと。 事後展開学習：国際学会等における実践活動について英文報告書を作成すること。関連内容について英語ディスカッションできる十分な知識を備えること。

学修単位の履修上の注意

本科目の到達目標に向けて、国際学会で行われる専門分野の技術プレゼンテーションおよびディスカッションができる高度な英語運用能力を養うため、実際に国際学会に参加し、経験を蓄積する積極的な活動が求められる。

授業の属性・履修上の区分

☑ アクティブラーニング	☑ ICT 利用	□ 遠隔授業対応	□ 実務経験のある教員による授業

授業計画

		週	授業内容	週ごとの到達目標
後期	3rdQ	1週	ガイダンス	授業全体の計画、目標などに関するガイダンスが理解できる。
		2週	専門研究に関する国際学会を調査	国際学会に調査、参加に向けて準備・計画を立てることができる。
		3週	Lesson 1　論文執筆の計画と準備	第一稿は母国語で書くべきか／査読者を満足させる方法について理解できる。
		4週	Lesson 2　センテンスの構造：語順	主語と動詞を離さない／副詞の位置について理解できる。
		5週	Lesson 3　パラグラフの構成	既知の情報と新規の情報／長いパラグラフの構成の仕方について理解できる。
		6週	Lesson 4　長いセンテンスを分割するテクニック	短いセンテンスを連続で使い、読者の注意を引きつける／注意を要する接続詞の使い方について理解できる。
		7週	Lesson 5　簡潔で無駄のないセンテンスの作り方	一般的表現＋具体的表現の構造を避ける／It is～の構文は避けることについて理解できる。
		8週	中間プレゼンテーション	現在の研究内容について英語ショートプレゼンテーションができる。
	4thQ	9週	Lesson 6　研究結果を強調するテクニック	重要な情報ほど短いセンテンスで表現する／注意を引きつける言葉について理解できる。
		10週	Lesson 7　プレイジャリズム（剽窃）とパラフレージング（置き換え）	剽窃は簡単に発見される／他の論文をパラフレージングして引用する方法について理解できる。
		11週	Lesson 8　論文タイトルのつけ方および要旨（Abstract）の書き方	タイトルに躍動感をつける／キーワードの選び方／下手な要旨に見られる共通の特徴について理解できる。

		12週	Lesson 9　序論（Introduction）および方法（Methods）の書き方	型的な科学分野ではない場合の序論の書き方／ステップの移行や流れの示し方について理解できる。
		13週	Lesson 10　結果（Results）、考察（Discussion）、結論（Conclusions）の書き方	否定的な結果を報告すべきか／能動態と受動態のどちらを使うか／研究の限界と将来の研究の可能性とをつなげる書き方について理解できる。
		14週	Lesson 11　投稿前の最終チェック	明確で順序正しい論理展開か／スペルミスの重大性を軽視しないことについて理解できる。
		15週	期末プレゼンテーション	国際学会での発表リハーサルとして、最終プレゼンテーションを行う。
		16週		

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週

評価割合

	英論文、プレゼンテーション	最終レポートの完成度	合計
総合評価割合	80	20	100
基礎的能力	80	20	100

奈良工業高等専門学校	開講年度	令和04年度 (2022年度)	授業科目	アドバンスト・グローバルコミュニケーション

科目基礎情報

科目番号	0008	科目区分	一般 / 選択
授業形態	講義	単位の種別と単位数	学修単位: 2
開設学科	グローバル工学協働教育プログラム(GECEP)（アドバンストコース）	対象学年	専2
開設期	前期	週時間数	2
教科書/教材	「Broadcast: ABC WORLD NEWS TONIGHT 3 映像で学ぶ ABCワールドニュース3」、KINSEIDO、山根繁 他 著		
担当教員	朴 槿英		

到達目標

グローバル社会で通用できる英語コミュニケーション能力を養うため、アメリカのニュースを視聴しながらその背景と内容を理解しつつ、正しく聞き取ることを目指す。また、各ニュースに関連する Weekly assignment の答案を作成し、ディスカッショントピックについて考えを簡潔に表現できるスキルを身につけることを目標とする。

ルーブリック

	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安
ディクテーション・スキル	生英語ニュースを聞き、英文を正しく書き取ることができる。	英語ニュースを聞き、英文をある程度書き取ることができる。	英語ニュースを聞き、英文を書き取ることができない。
リーディング・スキル	実用的なニュース本文を読み、正しく理解できる。	実用的なニュース本文を読み、概ね理解できる。	実用的なニュース本文を読み、理解することができない。
ディスカッション・スキル	ディスカッショントピックについて、考えを正確かつ簡潔に表現できる。	ディスカッショントピックについて、考えを概ね表現できる。	ディスカッショントピックについて、考えを表現することができない。

学科の到達目標項目との関係

教育方法等

概要	本講義は、アメリカの生英語ニュースを聞き取り、その内容が深く理解できるための、リスニング、リーディング、ディスカッション能力を同時に養うことを目的とする。各講義で学ぶ様々なニュース内容について、アサインメントを提出することが必須となる。また、英語でのディスカッショントピックについて簡潔に英作文することで、より実践的なコミュニケーション能力の育成を目指す。 なお、本科目は「グローバル工学協働教育プログラム」の一科目として実施する。
授業の進め方・方法	海外ニュースを視聴し、関連内容についてディクテーション・リーディング・ライティング練習を行う。また、ニュース本文のオーバーラップ練習を通してスピーキング・プラクティスそして、ディスカッショントピックについて英作文する。
注意点	生英語を聞き取るために必要な英語コミュニケーションズ能力および関連ニュースに関する基礎知識を身に備えるため、積極的な自学自習が必要である。 学習指針：グローバル社会の様々な話題に対する幅広い知識と柔軟な理解力が求められる。 関連科目：アドバンスト・グローバルチャレンジ、アドバンストグローバルエンジニアスキル、海外インターンシップ 自己学習（事前学習および事後展開学習） 事前学習：英語ネイティブ国の生ニュースを中心に反復的なリスニングプラクティスを行うこと。授業中に用いられるニュースを理解するために必要な情報も事前に調べること。 事後展開学習：授業で学んだ内容を適確に理解し、グローバル社会において様々な意見を英語で表現できるようにすること。

学修単位の履修上の注意

本科目の到達目標に向けて、グローバルな社会の話題を理解するとともに、関連する問題に英語で解答することが求められます。テキストで用いる英語ニュースが聞き取れるまで十分なリスニングとディクテーション訓練を行うことが必須です。

授業の属性・履修上の区分

□ アクティブラーニング	☑ ICT 利用	□ 遠隔授業対応	□ 実務経験のある教員による授業

授業計画

		週	授業内容	週ごとの到達目標
前期	1stQ	1週	News Story 1. New Company コロナ禍の中、ペットに癒やされる	News Story 1「New Company」を聞き取り、その内容が理解できる。
		2週	News Story 2.E-Cigarette: Partial Ban Backlash 若者に広がる電子シガレット使用	News Story 2「E-Cigarette: Partial Ban Backlash」をを聞き取り、その内容が理解できる。
		3週	News Story 3.The Veteran and His Homemade Toys 退役軍人の手作りのおもちゃ	News Story 3「The Veteran and His Homemade Toys」を聞き取り、その内容が理解できる。
		4週	News Story 4. To the Moon NASAを支えた女性数学者	News Story 4「To the Moon」を聞き取り、その内容が理解できる。
		5週	News Story 5.Flooding in Venice ベネチア水没の危機	News Story 5「Flooding in Venice」を聞き取り、その内容が理解できる。
		6週	News Story 6.Security from Above 大晦日のタイムズスクエアを警備する	News Story 6「Security from Above」を聞き取り、その内容が理解できる。
		7週	News Story 7.No Limits Café 特別支援が必要な人を雇用する	News Story 7「No Limits Café」を聞き取り、その内容が理解できる。
		8週	News Story 8.Paralyzed Man Walks Again 幹細胞治療で奇跡の快復	News Story 8「Paralyzed Man Walks Again」を聞き取り、その内容が理解できる。
	2ndQ	9週	News Story 9. Ending the War? アメリカ最長の戦争が終わるか？	News Story 9「Ending the War?」を聞き取り、その内容が理解できる。
		10週	News Story 10. Amazon on the Brink アマゾンの熱帯雨林を守る先住民族	News Story 10「Amazon on the Brink」を聞き取り、その内容が理解できる。
		11週	News Story 11. Emergency Business Aid 苦闘する中小企業の経営者	News Story 11「Emergency Business Aid」を聞き取り、その内容が理解できる。

		12週	News Story 12. Classic American Cowboy Hat カウボーイハットはメイド・イン・アメリカ	News Story １２「Classic American Cowboy Hat」を聞き取り、その内容が理解できる。
		13週	News Story 13. Anger Across America 人種差別に対する抗議デモが全米で広がる	News Story １３「Anger Across America」を聞き取り、その内容が理解できる。
		14週	News Story 14. Volunteers Feeding Those in Need 困っている人を助けるボランティアの輪	News Story １４「Volunteers Feeding Those in Need」を聞き取り、その内容が理解できる。
		15週	期末テスト	期末テストの問題に解答できる。
		16週		

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週

評価割合

	期末テスト	Weekly Assignment	合計
総合評価割合	50	50	100
基礎的能力	50	50	100

奈良工業高等専門学校	開講年度	令和04年度 (2022年度)	授業科目	海外インターンシップ

科目基礎情報

科目番号	0009	科目区分	一般 / 選択
授業形態	実習	単位の種別と単位数	履修単位: 2
開設学科	グローバル工学協働教育プログラム (GECEP)（アドバンストコース）	対象学年	専2
開設期	集中	週時間数	
教科書/教材	なし/本校で実施している，国際交流等の報告会発表が参考となる。		
担当教員	上島 智史,朴 槿英		

到達目標

・技術者としての心構えや社会人として何が必要かを学ぶこと。
・グローバル時代に生きる社会人として、異文化理解を通して自主性、創造性及び柔軟性の大切さを学ぶこと。
・グローバル技術者の基本的な素養として何が必要かを学ぶこと。

ルーブリック

	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安
評価項目1 技術者としての心構えと社会性	技術者としての心構えや社会人として何が必要かを説明できる。	技術者としての心構えや社会人として何が必要かを自覚している。	技術者としての心構えや社会人として何が必要かを自覚していな。
評価項目2 異文化理解力	異文化理解を通して自主性、創造性、柔軟性の大切さを説明できる。	異文化理解を通して自主性、創造性、柔軟性の大切さを自覚している。	異文化理解を通して自主性、創造性、柔軟性の大切さを自覚していない。

学科の到達目標項目との関係

教育方法等

概要	海外の企業・大学その他の公的機関等において実習ないしは研究体験をすることにより、グローバル技術者としてのキャリア体験を積むとともに、異文化理解力を深める。
授業の進め方・方法	海外インターンシップのテーマと内容については、本校グローバル教育センターと実習先機関が協議して定める。ただし、実習先機関においてあらかじめ用意されたテーマ及び内容を実務体験することもある。
注意点	修了証書と実習に参加した学生が作成する海外インターンシップ報告書の提出、さらに校内で実施する帰国報告会での発表をもって履修条件とする。実習中は安全に留意するとともに、保険への加入を義務付ける。 関連科目・学習指針・自己学習 実習中の体験を日誌に記録し、報告者作成時の資料とする。実習先の技術者、指導教員、バディ学生との積極的な交流を通して、グローバル感覚とともに、技術者として必要な英語コミュニケーション力を養うこと。

学修単位の履修上の注意

授業の属性・履修上の区分

☑ アクティブラーニング	☑ ICT 利用	□ 遠隔授業対応	□ 実務経験のある教員による授業

授業計画

		週	授業内容	週ごとの到達目標
前期	1stQ	1週	1．実施期間 10日間以上にわたり、合計80時間以上従事 2．学外実習先 本校が認めた海外企業の生産研究部門等及び大学その他公的教育機関 3．スケジュール （1）海外インターンシップ・ガイダンス ・概要説明 ・海外受入機関の紹介と実習内容の説明 ・安全教育 ・研修テーマのマッチング （2）事前研修 ・海外インターンシップの心構えと異文化理解に関する事前学習 ・国際交流報告会への出席 （3）実習 ・実習先でのオリエンテーション ・実習 ・文化交流 ・日誌の作成 （4）海外インターンシップのまとめ ・報告書の作成、帰国報告会でのプレゼンテーション 〔参考〕 これまでの主な実習先 ナンヤン・ポリテクニク（シンガポール）、香港IVE（香港）、国立勤益科技大学（台湾）等	・技術者としての心構えや社会人として何が必要かを学ぶこと。 ・グローバル時代に生きる社会人として、異文化理解を通して自主性、創造性及び柔軟性の大切さを学ぶこと。 ・グローバル技術者の基本的な素養として何が必要かを学ぶこと。
		2週		
		3週		
		4週		
		5週		
		6週		
		7週		
		8週		
	2ndQ	9週		
		10週		
		11週		
		12週		
		13週		

		14週		
		15週		
		16週		
後期	3rdQ	1週		
		2週		
		3週		
		4週		
		5週		
		6週		
		7週		
		8週		
	4thQ	9週		
		10週		
		11週		
		12週		
		13週		
		14週		
		15週		
		16週		

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週

評価割合

	報告書	実習報告	合計
総合評価割合	80	20	100
基礎的能力	80	20	100

奈良工業高等専門学校	開講年度	令和04年度 (2022年度)	授業科目	アドバンスト・グローバルエンジニアスキル

科目基礎情報

科目番号	0010	科目区分	一般 / 選択
授業形態	講義	単位の種別と単位数	学修単位: 2
開設学科	グローバル工学協働教育プログラム (GECEP) (アドバンストコース)	対象学年	専2
開設期	後期	週時間数	2
教科書/教材	Alex Raynham (著) Future Energy		
担当教員	Leigh McDowell		

到達目標

This subject aims to develop specialized English skills for globally active engineers (i.e., reading, writing, and presenting research)

ルーブリック

	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安
評価項目1	Demonstrated advanced writing skills	Demonstrated intermediate writing skills	Demonstrated lack of basic writing skills
評価項目2	Demonstrated advanced presentation skills	Demonstrated intermediate presentation skills	Demonstrated lack of basic presentation skills
評価項目3	Demonstrated exceptional participation	Demonstrated good participation	Demonstrated low participation

学科の到達目標項目との関係

教育方法等

概要	In order to develop practical English speaking and listening skills, this subject is taught all in English, and students are expected to use English as much as possible.
授業の進め方・方法	This subject is taught all in English, and students are expected to use English. Students practice and learn English discussion skills based around the topic of future energy. The subject includes learning through the lecture and practice to acquire presentation skills. Active participation is required.
注意点	

学修単位の履修上の注意

授業の属性・履修上の区分

□ アクティブラーニング	□ ICT 利用	□ 遠隔授業対応	□ 実務経験のある教員による授業

授業計画

		週	授業内容	週ごとの到達目標
後期	3rdQ	1週	Lesson1: Energy today	Understand the contents of Lesson 1 and discuss them in English.
		2週	Lesson2: Fossil fuels	Understand the contents of Lesson 2 and discuss them in English.
		3週	Lesson3: Energy and our planet	Understand the contents of Lesson 3 and discuss them in English.
		4週	Lesson4: Saving energy	Understand the contents of Lesson 4 and discuss them in English.
		5週	Lesson5: The power of the atom	Understand the contents of Lesson 5 and discuss them in English.
		6週	Lesson6: Super fuels	Understand the contents of Lesson 6 and discuss them in English.
		7週	Lesson7: A bright future	Understand the contents of Lesson 7 and discuss them in English.
		8週	Lesson8: When the wind blows	Understand the contents of Lesson 8 and discuss them in English.
	4thQ	9週	Lesson9: Water world	Understand the contents of Lesson 9 and discuss them in English.
		10週	Lesson10: Heat all around us	Understand the contents of Lesson 10 and discuss them in English.
		11週	Lesson11: People power	Understand the contents of Lesson 11 and discuss them in English.
		12週	Lesson12: Nano power	Understand the contents of Lesson 12 and discuss them in English.
		13週	Lesson13: Energy in space	Understand the contents of Lesson 13 and discuss them in English.
		14週	Lesson14: Going local	Understand the contents of Lesson 14 and discuss them in English.
		15週	Lesson15: Where next?	Understand the contents of Lesson 15 and discuss them in English.
		16週		

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週

評価割合

	Presentation	Class Participation (Assignment)	合計

総合評価割合	20	80	100
基礎的能力	20	80	100